

中沢地域づくり委員会による「中沢彩構築」事業

取り組みに至る背景・事業の目的

駒ヶ根市中沢地域の人口減少に歯止めをかけるため、住民自らが能動的に地域活性化に関わり、自らの地域を振り返り再認識するとともに、地域の魅力を情報発信し、定住者の増加を目指す。

事業内容

- 中沢地域の魅力発見
江戸川大学（千葉県）の鈴木輝隆教授及びゼミ生による地域人材・資源再発見のフィールドワーク及び報告会に対し、食事の提供など地域住民も積極的に協力
- 中沢地区魅力発信ホームページの作成
中沢地区内の情報を発信するためのホームページの作成
- 空家物件の調査
移住者への提供可能な空家の状況調査を行う



【フィールドワーク報告会】

事業効果

- 中沢地域の魅力発見におけるフィールドワークには、調査、サポート報告会に地区住民の2割が参加するなど、住民意識の高まりをもたらした。
- ホームページによる情報発信のほか、新聞や地域情報誌等への掲載により、地域のPR活動が始まっている。
- 空家調査及び情報発信により、地区への移住を希望する方々への情報提供がすすみ、実際に5軒、10名の方中沢地区へ移り住むこととなった。



【完成したホームページ】

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 中沢魅力発見調査の報告（提言）を基とし、地域の魅力をより輝かせる方策について議論を深めていくとともに、作成したホームページを有効活用し、地域内外の方との双方向コミュニケーションにより多くの人と関わりがもてる地域づくりを目指す。
- 向上している住民の参加意欲を保っていくため、多様な住民が関われるような地域づくりの仕組みを作っていく。

【選定のポイント】

地域住民と大学生が協働し、地域の資源を再発見しながら課題を解決していこうとする取り組みで、現在過疎地域が直面している人口減少に歯止めを掛け、「中沢地区の魅力」を活用して活性化を図ろうとするモデル性、公益性が非常に高い事業である。事業の結果、5軒10名の転入者があった。今後さらに、地域と行政が連携を図りながら、地域の活性化へつながる取り組みとして期待ができる。

団体名 中沢地域づくり実行委員会（駒ヶ根市）	事業タイプ ソフト事業
連絡先	事業費 1, 213, 949円
ホームページ http://www.nakapo.jp/	支援金額 959, 000円